赤ひげ
クリニック
Akahige

京都旅行



５月２０日 第３回 赤ひげ旅行 in 京都に行ってきました。
今回で３回目になる赤ひげ旅行とは、当クリニックのデイケアに来られている利用者様に旅行へ行って頂き、普段とは違う環境で楽しく過ごして頂くという企画です。
今までは、「３年とらふぐ食べに淡路島の旅」や「紅葉と演芸を楽しむ箕面温泉の旅」そして、今回「京都・龍馬ゆかりの地・伏見（舞妓さんとの昼食）と嵐山日帰りの旅」でした。
バスの中では、脳トレクイズやおしゃべりが止まらず、嵐山では手に持てない程のお土産を買って、いよいよメインの舞妓さんとの昼食会場に着きました。
昼食会場は、文化遺産指定の京町家作りのお店でした。
可愛い２名の舞妓さんの登場に皆様の顔がとてもいい笑顔になり、昼食をいただきながら舞いを見せて頂き、その後は記念撮影と花名刺を頂き、早速ご自分の携帯電話に貼られている方もいらっしゃいました。花名刺はお財布に入れていると、お金が舞い込むと言われているそうです。
最後に参加者全員で記念撮影しました。次回も参加したいと大変好評を頂き、帰路に着きました。
最後に、赤ひげより旅の記念品を皆様へお配りさせて頂きました。
次回も参加するという目標を掲げて、毎日リハビリを頑張ってくれています。この様な旅行企画は年１回の予定でこれからも続けていこうと思っております。赤ひげクリニックでは、楽しいという気持ちになって頂き、通所リハビリテーションに来て頂いております。毎日楽しく笑顔が絶えない場所の提供としてスタッフ一同日々奮闘しております。

Access
アクセス



公共交通機関でお越しになられる方

- 紀の川コミュニティバス「丸栖北」下車すぐ
- JR 和歌山線船戸駅よりタクシーで 5 分（徒歩約 20 分）
- 紀の川市地域巡回バス「巡回丸栖北」下車すぐ

社会医療法人　三車会
貴志川リハビリテーション病院
〒640-0401　和歌山県紀の川市 貴志川町丸栖 1423-3
TEL　0736-64-0061 ／ FAX 0736-64-0063
〔HP〕 http://www.mikurumakai.or.jp

Notice
お知らせ

第１４回 紀北地区広域リハビリテーション研修会



講師に神奈川県立保健福祉大学　作業療法学専攻長　教授　玉垣努先生をお招きし、実技指導を中心とした研修会を行ってもらいました。
院外からも多数の理学療法士や作業療法士が集まり、熱気あふれる研修会となりました。

フェイスブック
Facebook

三車会は Facebook ページを運営しています。
お気軽にフォロー＆いいね よろしくお願いします。

facebook　貴志川リハビリテーション病院
facebook　赤ひげクリニック
facebook　Acti-va

2018 年 7 月発行 / 広報誌みくるま通信　vol.17　夏号

社会医療法人 三車会　広報誌

Summer 夏号
2018
Vol.17

みくるま通信



Lineup
掲載内容

- 朝のあいさつ運動
- Facebook ピックアップ
- 自動車運転再開支援プログラム
- 赤ひげクリニック 京都旅行

接遇
Reception

朝のあいさつ運動

【あいさつしましょうかい（会）】



職員が生き生きと働ける職場を目指します。



今年度、接遇マナー向上委員会では、人とひととの関係（コミュニケーション）
を今以上に良くするため何か取り組めないだろうかと検討した結果、
毎月挨拶週間を決め、就業前の 15 分間活動しています。
通勤の職員をはじめ、地域の方、通学中の生徒の方々に挨拶をしています。
生徒の方の中には、はにかんで挨拶をされる方もいらっしゃいます。
ほっこりする場面であり、活動終了後には、「さぁ頑張って仕事しよう！！」
と言う晴れ晴れした気分になります。





社会医療法人 三車会 貴志川リハビリテーション病院
接遇マナー向上委員会

Facebook
ピックアップ
フェイスブック

スタッフ紹介
ケアアシスタント (看護補助者)



当病院の中には様々な職種のスタッフが働いています。その中に、ケアアシスタント (看護補助者) といった職種があります！
彼ら、彼女らは患者様の生活の部分に寄り添い、いろいろなお手伝いをしたり、様々な場面で活躍してくれています。介護職の役割を果たすため、必要な知識や技術、態度等を習得するために日々努力しています。病院内ではケアについて定期的に勉強会も行っています。今回、トランスファー (移乗動作) の勉強会を行いました。このように普段より知識や技術の再確認を行い、患者様に安心して、そして安全安楽に生活してもらえるよう日々精進しています。

Acti-va



先日、4 月 25 日（水）に和歌山放（AM1431kHz）ラジオに生出演しました。ボックスという番組内にコーナー「わくわく Acti-va」を設けていただき、Acti-va の名前の由来やショートステイ独自の取り組み、利用者様の身体の見える化についてなど約 10 分間お話しさせてもらいました。パーソナリティーの覚道さんをはじめスタッフの方々、コメンテーターの元和歌山医大学長である駒井先生も気さくにお声掛けいただき話しやすい状態で話すことが出来ました。これからも毎月第 4 水曜日 AM9:48 前後から放送することになりました。Acti-va の想いや取り組みについて伝えていけたらと思います。是非ともお聞きください。

リハビリ
テーション部
Rehabilitation

「自動車運転再開支援プログラム」を始めました。

傷病により自動車運転が困難となった患者様の場合において
当院が自動車運転再開に必要な能力について下記のような検査・評価を行い
運動評価に関する診断書を作成します。（※行うには医師の診察が必要です）



神経心理学検査



ドライビング
シミュレーター

実車での評価を行うことで
病院ではわからない身体の機能を
知ることができるくま！





教習所での実車評価
（有料オプション）

※最終的に自動車運転を再開するためには、
当プログラムを利用した後、担当医師の
診断書を必要とし、その上で公安委員会での
運転再開の許可を受ける必要があります。

